

報告事項キ

平成20年度末鳥取県立学校教職員人事異動公募制度における公募実施校の
決定について

平成20年度末鳥取県立学校教職員人事異動公募制度における公募実施校の決定
について、別紙のとおり報告します。

平成20年10月16日

鳥取県教育委員会教育長 中 永 廣 樹

平成20年度末鳥取県立学校教職員人事異動公募制度における
 公募実施校の決定について

高等学校課
 特別支援教育課

1 公募実施校（詳細は別紙）

平成20年度末（10校） 【高等学校・特別支援学校】 （公募制度を高等学校に加え特別支援学校に拡大）	平成19年度末（5校） 【高等学校】	平成18年度末（4校） 【高等学校】
鳥取緑風高等学校（新規） 倉吉総合産業高等学校 米子西高等学校 米子工業高等学校 米子白鳳高等学校 境高等学校 境港総合技術高等学校（再） 白兔養護学校（新規） 倉吉養護学校（新規） 皆生養護学校（新規）	倉吉総合産業高等学校 米子西高等学校（新規） 米子工業高等学校（新規） 米子白鳳高等学校 境高等学校 公募実施校2校に1名 ずつ計2名が応募 2名とも公募実施校に 異動	倉吉総合産業高等学校 米子白鳳高等学校 境高等学校 境港総合技術高等学校 応募教職員なし

2 今後の予定

内 容	時期・締切
公募実施校の公表（各校に通知、ホームページに掲載）	平成20年10月16日
公募実施校による説明会の開催（各学校随時）	11月7日（金）まで
志願書・応募論文の提出（応募教職員 校長 県教育委員会）	11月21日（金）まで
応募教職員の取りまとめ 公募実施校に通知	11月下旬
公募実施校が書類選考及び面接等の実施 公募実施校の校長が候補者を決定	12月上旬～中旬
候補者の具申（公募実施校の校長 県教育委員会）	12月26日（金）まで
県教育委員会が配置を決定	平成21年3月下旬

公募する教職員像・公募人数

高等学校課・特別支援教育課

公募実施校	公募する教職員像	人数
鳥取緑風高等学校 (新規)	次の1、2及び3に該当する教諭 1 学校の慣例にとらわれず、時代の要求とのバランスをとりながら、進取の精神をもって学校のより望ましい在り方と独自性を模索し続けることができる者 2 生徒及び保護者、地域の方々、同僚教職員などに対し寛容の心をもって適切に対応できる者 3 日中勤務、夜間勤務、日曜勤務等、多様な勤務パターンに対応できる者	1名
倉吉総合産業高等学校	情報教育に熱意があり、職員全体との調和がとれ、協力して業務を遂行することができ、システム管理、ネットワークについての知識を有する教諭	1名
米子西高等学校	文武併進の校風をさらに推進するために、教科指導において進路保障に向けた学力向上の中核となるとともに、部活動指導に力を発揮できる教諭	2名
米子工業高等学校	理科の免許を有し、物理を中心に教科指導できる教諭で、エチケット・マナー教育、毅然とした生徒指導、教科指導ができ、報告・連絡・相談を綿密に行い、他の教職員と協力して業務を遂行できる者	1名
米子白鳳高等学校	定時制課程・通信制課程における多様な生徒に対する教育的指導力及び新しい学校づくりに意欲的に取り組む実践力のある理科教諭で、農業を担当できる者及び情報を担当できる者(各1名)	2名
境高等学校	次の1又は2に該当する教諭 1 多様で個性豊かな生徒に、熱心な教科指導と部活動指導ができる者 2 自ら所有する諸資格、特技(教科「情報」免許、「司書教諭」資格、諸外国語(中国語・ハングル)等)を生徒の教科指導・部活動指導に生かすことができる者	2名以内
境港総合技術高等学校 (再)	次の1又は2に該当する教諭 1 環境教育に強い関心と十分な知識をもち、環境教育を推進する意欲のある者(環境教育リーダー研修等を既に受講済であることが望ましいが、未受講でも可) 2 教科指導又は教育活動の中で環境学習を実践し、成果をあげている者	2名以内
白兎養護学校 (新規)	次の1～4のいずれにも該当し県立高等学校に勤務する教諭 1 「障害」があることの意味が理解できる者 2 発達障害がある生徒への関わりを積極的に行ってきた者(これから行いたいと強く希望する者) 3 教員として研究テーマがある者 4 どのような状況下でもベストを尽くす者	1名
倉吉養護学校 (新規)	次の1及び2に該当する教諭 1 本校において特別支援教育に取り組もうとする意欲をもち、高等学校での特別支援教育の必要性を強く感じている者 2 教科指導のみならず、特別支援学校独自の教科領域を併せた指導(自立活動、生活単元学習、日常生活の指導)や支援等に積極的に取り組む意欲をもつ者	1名
皆生養護学校 (新規)	本校の在職期間を3年間とし、特別支援学校教諭免許状の取得を目指し、次の1又は2のいずれかに該当する教諭 1 以下の教科において本校生徒の大学入試及び就労支援に関する指導ができる者(数学、英語、工業、商業) 2 自立活動、進路指導に指導力が発揮できる者	2名

平成20年度末鳥取県立学校教職員人事異動公募制度 公募実施校一覧

公募実施校	学校教育目標	現状と課題	長中期目標(学校ビジョン)	具体的な取組方策	公募する教職員像	公募人数	論文課題
鳥取県立鳥取高等学校	心身ともに健康で、何事にもむちむち取り組む生徒を育てる。お互いを思いやり、支え合う優しさを持った生徒を育てる。自己の向上に努め、たくましく生きる力を持った生徒を育てる。	本校は平成15年11月1日に設置され、定時制課程・通信制課程を併設するが、定時制課程はさらに、午前部・午後部・夜間部の三部制を敷いている。入学する生徒は、新報中学校卒業生はもとより、そのほか、他の高等学校等からの転編入学者など極めて多様であり、その学習歴も多岐にわたる。よって生徒の年齢層は幅広く、中には不登校の経験などさまざまな理由による学習を中断していた期間のある者も在籍している。以上より、学校の制度と入学者の実態によりよく対応し、学校の若さをむす武器として生かすことのできる教職員集団を構成し、学校設置の目的を十全に達成する必要がある。	中長期目標(学校ビジョン) 1 基本的な生活習慣の確立による生徒の自己管理能力の育成。 2 夢と希望を持ち、世界を広げていくことのできる生徒の育成。 3 社会のルールやマナーを遵守する生徒の育成。 4 基礎・基本の重視による、生徒一人一人の学力の向上。 5 生徒が将来の生き方を意識する進路指導の充実。 6 自律性を持った生徒の自主性の育成。 * 成人である有職生徒については、仕事と勉強の両立をとおして社会人としての資質の向上を図る。	次1、2及び3に該当する教諭 1 学校の慣例にとらわれず、時代の要求とのバランスをとったりながら、進取の精神をもって学校を模索し続けることができ、個性を生徒及び保護者、地域の方々、同僚教職員などに対し寛容の心をもって適切に対応できる者 3 日中勤務、夜間勤務、日曜勤務等、多様な勤務パターンに対応できる者	1名	「現代の定時制・通信制教育が果たすべき役割」(自身の現状分析を踏まえて)	
倉吉総合産業高等学校	1 誠実な心を育て、たくましく生きる力を養い、個性豊かな人間形成を図る。 2 実践的な学習をとおして、創造する喜びを体験するとともに、自主・自律の態度を養う。 3 様々な教育活動をおおして、他人を思いやり、友情を育み、心身ともに健全な態度を養う。 4 職業に関する資格・検定の取得に努め、望ましい勤労観・職業観を育て、進路意識の高揚を図る。	本校は平成15年に総合選択制の高校として開校し、新たに情報学科マルチメディア技術科が設置され6年が経過した。この間社会の状況や地域のニーズを把握しながら、社会に求められる人材の育成に努力してきた。情報技術が急速に発展し、地域のニーズも大きく変化しつつある現状で、社会の状況に即した情報教育の発展・充実に継続的に取り組むことのできる職員を公募したいと考えている。	社会の状況、地域のニーズを的確に捉え、本校情報学科の育てる生徒像、教育内容を確立する。検討し、実習を含めた教育内容を検討し、学習テキスト、教材・教具を作成する。	情報教育に熱意があり、職員全体との調和がとれ、協力して業務を遂行することができ、システム管理、ネットワークについての知識を有する教諭	1名	「私の考える情報教育」	
米子西高等学校	1 自己実現を可能にする学力の向上 2 基本的な生活習慣と社会的規範意識を確立した、健全な高校生活の実 3 豊かな心を持ち、切磋琢磨できる人間関係の構築 4 保護者・地域と連携した活力ある学校づくり	1 本校生徒の殆ど全員が大学等の上級学校進学を希望しており、生徒の自己実現を可能にするために生徒の学習意欲の高揚と進学に対応できる高い学力を身につけさせる必要がある。 2 大多数の生徒が部活動に積極的に参加を希望している状況であるので、部活動に充実した高校生活を体験させ、全人的な成長と本校の活性化を図る必要がある。 3 教員の指導力の充実によって、上記1、2を画立させる。	1 教員の教育力の充実と魅力ある授業の実践によって、生徒の学習意欲の高揚を図る。 2 生徒の自己実現を可能にする学習指導体制を確立する。 3 適切な活動計画に基づき、充実した部活動の育成を図る。	文武併進の校風をさらに推進するために、教科指導において進路保障に向けた学力向上の中核となることにも、部活動指導に力を発揮できる教諭	2名	「私の教育観」 注[1,200字程度]	
米子工業高等学校	「地域社会・産業界に貢献する人材の育成」と「進路実現」をミッションとし、「自主・自律」の精神を持ち、「創造力」豊かな「他者を思いやり」人間を育成する。 1 規律ある生活習慣の確立 2 学力の向上 3 部活動の推進 4 「ものづくり」をおとした特色ある教育活動	1 資格取得・ものづくりコンテスト・部活動等に取り組みが、生徒としても成果をあげているが、社会人としてのエチケット・マナー教育を必要とする必要がある。 2 生徒に学力差があり、進進者に対する基礎学力の向上が必要である。 3 大多数の生徒が部活動に参加し、成果を上げていくが、リーダーの育成が必要である。 4 地域・企業と連携したものづくり事業に取り組み、地域に発信し、また、きめ細かな進路指導により、就職・進学等に成果を上げている。今後は、1年生からの系統だった進路学習により職業観・勤労観の育成が必要である。	企業原学・就業体験等キャリア教育を中心とした社会人としてのエチケット・マナーの徹底指導。 2 専門教科と普通教科が連携した学力向上対策。毅然とした生徒指導・教科指導。 3 生徒会活動・部活動の活性化によるリーダーの育成。 4 1年次からの系統だった進路学習。地域・企業との連携による人材育成。	理科の免許を有し、物理を中心に教科指導できる教諭で、工手ケット・マナー教育、毅然とした生徒指導、教科指導ができ、報告・連絡・相談を綿密に行い、他の教職員と協力して業務を遂行できる者	1名	「工業高校におけるキャリア教育と生徒指導」	

平成20年度末鳥取県立学校教職員人事異動公募制度 公募実施校一覧

公募実施校	学校教育目標	現状と課題	具体的な取組方策	公募する教職員像	公募人数	論課題
米子白鳳高等学校	定時制・通信制ともに3年修了制度を取り入れ、それを旨とした生徒像と魅力ある学校づくりの教育活動を作り上げる。 定時制課程では、総合学科としての「産業社会と人間」「総合的な学習の時間」の取組みを生活指導、進路指導に生かしながら、充実した学校生活と学力の向上を進め、社会生活で自立できる力をはぐくむこと。通信制では、単位制の特徴を生かした学習指導と教育相談による生活指導、進路指導を充実させ、生涯教育と社会的に自立する力をはぐくむこと。	生徒の入学の動機は様々であり、学力差も大きく、心身の健康面に不安を抱えている生徒、また、学力・体力に自信を失っている生徒、集団生活や対人関係を苦手としている生徒もいる。今年度の3月、第1回の卒業生を輩出したが、進路希望の実現に向けて、進学、就職両面の受け入れ先をさらに開拓していきたい。	将来の自分自身の姿を見出させ、進路意識の高揚と進路の実現を図る。 1 基礎学力の向上と充実した学習指導による進路指導の推進 2 基本的生活学習の推進 3 特別活動や部活動等の振興による充実した学校生活の推進 4 教育相談やカウンセリング体制による個別相談指導の推進 5 保護者、地域との連携・協力した学校づくりの推進 6 教育環境の整備の推進	定時制課程・通信制課程における多様な生徒に対する教育的指導力及び新しい学校づくりに意欲的に取り組む実践力のある理科教諭で、農業を担当できる者及び情報を担当できる者(各1名)	2名	「特別支援教育について思うこと」 注[1,200字程度]
境高等学校	21世紀の新しい学校づくり 眞実剛健の精神で文武両道をめざし、学業・部活動等を通じて自己の多様な能力・適性を発見する。多様な生徒に応じたクラス編制と、生徒の希望する進路を実現する単位制普通科高校。 ・健康で文化の香り豊かな学校 ・個性の伸長と才能の開花を図る学校 ・地域に信頼され、地域の期待に応える学校	(1) 学力の充実・向上について 個性豊かな生徒の特色ある推薦入試(定員90名・学力・体育・文化推薦)を実施する。 到達度に応じた習熟度別・進路志望別級編制を実施する。 一部クラスに8限授業、希望者に長期休業などに勉強合宿・講習等を実施し、教材研究やテレビ講座による視覚教材の利用等の授業研究をすすめる。 境港市唯一の普通科高校として受験科目6教科7科目の国公立大学受験者増加をめざす。 (2) 充実した教育活動及び部活動の振興・強化について 韓国研修旅行や地域と連携したスクールプロジェクトなどの教育活動を推進する。 原則、全員の部活動への加入を推奨し、運動部・文化部ともに振興・充実・強化を図る。 県内諸大会で活躍し、県代表として中国大会・全国高校総合体育大会・全国高校総合文化祭等に多数の出場を目指す。	環境配慮活動・環境学習・環境教育を推進するための分掌を位置づけ、それを推進するリーダーとしての職務を担う。文科省・環境省が実施している環境教育リーダー研修等にも参加し、一定の研修を経て、本校で取り組む環境教育のプログラム全体で取り組む環境学習や学校専門科の授業・実習等や研究課題において、実践的で地域に密着した具体的な環境教育を展開していく。	次の1又は2に該当する教諭 1 多様な教科指導と部活動指導ができる者 2 自ら所有する語資格、特技(教科「情報」免許、「司書教諭」資格、語外国語(中国語・ハングル)等)を生徒の教科指導・部活動指導に生かすことができる者	2名以内	教科指導と部活動指導 語資格・特技と教科指導 注[または のいずれか]
境合技術高等学校	1 特色ある学校づくりと学校運営の充実 2 個に応じた学力の向上 3 基本的生活学習の確立と徹底した生徒指導 4 進路指導の充実 5 心の教育の推進と健康・体力の増進 6 開かれた学校づくりの推進	創立以来、4大学科6小学科からなる総合選択制専門高校として、その特色ある教育活動や教育課程の充実を図ってきた。本年度TEASの取組みを始めており、各専門科が行ってきた従前の環境配慮活動の更なる推進と、各科における環境学習の一層の充実と、各校での環境教育の推進を図って実と社会がつくりのため、現在、持続可能な社会づくりのため、多くの企業・地域地元企業に多くの生徒が就職を希望していることや、現在の社会を取り巻く様々な環境問題のよりよい理解のため、今後本校で推進していく環境教育の中心的推進者が早期に望まれる。	環境配慮活動・環境学習・環境教育を推進するための分掌を位置づけ、それを推進するリーダーとしての職務を担う。文科省・環境省が実施している環境教育リーダー研修等にも参加し、一定の研修を経て、本校で取り組む環境教育のプログラム全体で取り組む環境学習や学校専門科の授業・実習等や研究課題において、実践的で地域に密着した具体的な環境教育を展開していく。	次の1又は2に該当する教諭 1 環境教育に強い関心と十分な知識をもち、環境教育を推進する意欲のある者(環境教育リーダー研修等を既に受講済であることが望ましいが、未受講でも可) 2 教科指導又は教育活動の中で環境学習を実践し、成果をあげている者	2名以内	「学校において環境教育が果たす役割とは」「私が実践してきた環境学習とその成果」 注[又は のどちらからか200字程度]

平成20年度未鳥取県立学校教職員人事異動公募制度 公募実施校一覧

公募実施校	学校教育目標 児童生徒が学校生活を楽しく、健康で豊かな生活を求めて最適な社会参加を目指すよう教育実践を行う。	現状と課題 県立高等学校との人事交流が行われていない。生徒数が減少する中で、特別支援学校高等部（知的障害教育）では生徒が増加してきている。教員には、障害への専門的な対応と同時に思春期にある若者への深い関係や支援を求めている。さらに教育の場を通じて、障害の有無にかかわらず同年代の若者をつなぐ人材が必要となっている。	具体的な取組方策 1 指導より理解・共感・支援するなど、「教育の原点」の学習 2 特別支援教育関係の2種免許取得（免許法認定講習会の受講） 3 就業につなげる教育内容の構築 4 高等部生と高校生とのパイプ役 5 コミュニケーション及び生活上の課題解決への支援	公募する教職員像 次の1～4のいずれにも該当し県立高等学校に勤務することの意義が理解できる者 2 発達障害がある生徒への関わりを積極的に行ってきたいと強く希望する者 3 教員として研究テーマがある者 4 どのような状況下でもベストを尽くす者	公募人数 1名	論文課題 下記のいずれか1つを選択 「私と知的障害教育」 「私と発達障害教育」 「私のこれまでの教育実践」 「特別支援教育と高等学校の教育について」
白兎養護学校	児童生徒一人一人の障害の状態や発達課題に即した教育をとおして、その可能性を最大限に伸ばすとともに、身辺生活の自立と集団や社会生活への参加をめざして、たくましく生きることができる人間を育成する。	平成16年度に肢体不自由教育部門を新設し、児童・生徒も年々増加している。近年高等部に肢体単一障害の生徒も入学している中、教科指導、進路指導を進めていく上で、高等学校の指導経験のある教員を必要としている。また、平成15年度から特別支援教育のセンター的機能を担い、相談教育を中心に取り組んでいるが、近年、高等学校からの相談も増えている。このため、高等学校の実情を熟知した教員と連携を図り、本校のセンター的機能の拡充を図っていききたい。	実際に学級担任（あるいは補助担任）として肢体不自由教育部門（知的障害教育部門も含めて）を担当し、高等部としての教科指導について高等部教職員と連携をとり、カリキュラムの見直し、進路指導のあり方についても拡充を図っていく。また、地域支援部に所属し、高校の実情を踏まえた支援計画、相談の方法について具体的な取組方法を検討していく。	1 指導期間を3年間とし、特別支援学校教諭免許状の取得を目指す。次の1又は2のいずれかに該当する教諭 1 以下の教科において本校生徒の指導ができてくる者（数学、英語、工業、商業） 2 自立活動、進路指導に指導力がある者	2名	「赴任する3年間の中で、皆生養護学校で実践してみたいこと」
倉吉養護学校	児童生徒一人一人の障害の状態や発達課題に即した教育をとおして、その可能性を最大限に伸ばすとともに、身辺生活の自立と集団や社会生活への参加をめざして、たくましく生きることができる人間を育成する。	平成16年度に肢体不自由教育部門を新設し、児童・生徒も年々増加している。近年高等部に肢体単一障害の生徒も入学している中、教科指導、進路指導を進めていく上で、高等学校の指導経験のある教員を必要としている。また、平成15年度から特別支援教育のセンター的機能を担い、相談教育を中心に取り組んでいるが、近年、高等学校からの相談も増えている。このため、高等学校の実情を熟知した教員と連携を図り、本校のセンター的機能の拡充を図っていききたい。	・高等学校、特別支援学校からの公募教職員の所属学部は、主免許が優れるところであれば、本人の希望を優先する。 ・本校で担任をする者は、原則校務分掌を持たないようになっているので、所属学部が決まってくるものとする。 ・公募職員は、3年間在籍し、公募時点の校種に異動するものとする。	本校の在職期間を3年間とし、特別支援学校教諭免許状の取得を目指す。次の1又は2のいずれかに該当する教諭 1 以下の教科において本校生徒の指導ができてくる者（数学、英語、工業、商業） 2 自立活動、進路指導に指導力がある者	2名	「赴任する3年間の中で、皆生養護学校で実践してみたいこと」
皆生養護学校	児童生徒一人一人の障害の状態や発達課題に即した教育をとおして、その可能性を最大限に伸ばすとともに、身辺生活の自立と集団や社会生活への参加をめざして、たくましく生きることができる人間を育成する。	平成16年度に肢体不自由教育部門を新設し、児童・生徒も年々増加している。近年高等部に肢体単一障害の生徒も入学している中、教科指導、進路指導を進めていく上で、高等学校の指導経験のある教員を必要としている。また、平成15年度から特別支援教育のセンター的機能を担い、相談教育を中心に取り組んでいるが、近年、高等学校からの相談も増えている。このため、高等学校の実情を熟知した教員と連携を図り、本校のセンター的機能の拡充を図っていききたい。	・高等学校、特別支援学校からの公募教職員の所属学部は、主免許が優れるところであれば、本人の希望を優先する。 ・本校で担任をする者は、原則校務分掌を持たないようになっているので、所属学部が決まってくるものとする。 ・公募職員は、3年間在籍し、公募時点の校種に異動するものとする。	本校の在職期間を3年間とし、特別支援学校教諭免許状の取得を目指す。次の1又は2のいずれかに該当する教諭 1 以下の教科において本校生徒の指導ができてくる者（数学、英語、工業、商業） 2 自立活動、進路指導に指導力がある者	2名	「赴任する3年間の中で、皆生養護学校で実践してみたいこと」